

●全国学力学習状況調査(小6)

課題の見られた問題の概要	結果
立場を明確にして、質問や意見を述べる。	36.5%
分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらに関係付けながら、まとめて書く。	36.5%
2つの詩を比べて読み、自分の考えを書く。	47.4%
故事成語の使い方として適切なものを選択する。	53.3%

●児童・生徒の学力向上を図るための調査(小5)

課題の見られた問題の概要	結果
主語と述語の働きについて正しく理解して書く。	11.90%
筆者の考えを理解・解釈して目的に応じてまとめた文章を考える。	34.70%
聞き取るべき内容を自分で判断し、話の中心となる情報についてメモを取りながら聞く。	65.30%
既習漢字(読点)を文脈に即して正しく読む。	69.50%

●調査結果を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
・前後の関係を考えて、接続詞を使う。	・文脈に即して正しく読み、筆者の考えで理解したことをまとめて書く。

●調査結果を踏まえて学校全体で取り組む内容

・発達段階に応じて、正しく読み、感想や自分の考えをまとめて書く。

学年	児童の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	・かんたんな文章の内容を概ね理解することはできている。 ・正しい文を書くために習熟が必要。	・授業時間内に多くの読む、書く作業を設定する。 ・系統的な学習計画を立てる。
2年生	・文章は、概ね、正しく読むことができる。 ・感想や自分の考えをもてる児童と、もてない児童がいる。	・学習中、感想の交流などや、自分の考えをペアや小グループで発表する場面を多く取り入れる。
3年生	・文章の内容を理解することはできている。 ・感想や考えを理解しているがどう書けばいいのかわからない児童がいる。	・場面ごとの内容をしっかりとおさえ、その時の感想や考えを表現する時間をしっかりとる。ペアや小グループで交流する時間も意識して取り入れる。
4年生	・文章は概ね正しく読むことができているが、部分的な読みをしていることがある。 ・感想や考えを表現するのが苦手な児童がいる。	・根拠を挙げて、感想や考えを発表する活動を多くする。 ・ペアや小グループで発表し合う場面を多くする。友達の考えを参考にしたり、自分の考えを付け足したりする指導をする。
5年生	・文章の内容を概ね理解することはできている。 ・自分の考えや感想を文章で表現することへの苦手意識をもっている児童がいる。	・個人のつぶやきを大切に授業を進める。そのためにペアや小グループでの学習や、机の配置を工夫する。 ・授業の中に「書く」活動を意識的に取り入れていく。
6年生	・文章の内容を大体、理解することはできているが、自分の考えをもちながら読んだり、根拠を本文から読み取ることを難しいと考える児童が多い。	・根拠にあたる文章にサイドラインを引き、考えをペアや小グループで伝え合うようにする。 ・授業の振り返りをして、考えを書く習慣をつける。

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて、音読している。 ・読書への関心が高い。	・主語・述語に気を付けて正しく書くこと。 ・筆者の考えやあらすじを読み取り、自分の考えや感想を書くこと。

●学校全体で取り組む内容

・発達段階に応じて、文章を正しく読み取り、自分の考えをわかりやすく書く。 ・新出漢字の定着を図る。
--

学年	児童の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	・かんたんな文章の内容を概ね理解することはできている。 ・正しい文を書くために習熟が必要。	・授業時間内に多くの読む、書く作業を設定する。 ・感想や考えを発表する場を設定する。
2年生	・文章の読み取りは、概ねできている。 ・漢字が定着していない。	・繰り返しドリル学習をすることで、定着を図る。
3年生	・物語文の読み取りはできているが、説明文の読み取り、文章の構成を理解するのが苦手である。 ・漢字が定着していない。	・読書活動を積極的に取り入れる。 ・段落相互の関係をしっかりと理解させる。 ・繰り返し練習し、テストで習熟度を確認していく。
4年生	・文章の読み取りはできているが、表現が苦手。 ・漢字練習はよく行うが、作文や日記等、習った漢字を使う習慣がついていない児童もいる。	・学習のまとめなどで、感想や考えを書く場面を多くする。 ・自分で書いたものを見直す時間を随時とり、習った漢字を使って表現することを習慣付ける。
5年生	・読解力の差は個人差が大きくなってきている。 ・新出漢字は毎日練習しているが、定着しているとは言えない。	・学習のまとめなどで、感想や考えを書く場面を多くする。 ・より一層、読書を推奨する。 ・学期の中間や学期末には、漢字練習を繰り返させ、定着を図る。
6年生	・大まかに読み取ることにはできるが、文のきまりに留意して深く読み取することは、個人差がある。 ・漢字を活用して書くことには個人差がある。	・学習のまとめなどで、感想や考えを書く場面を多くする。 ・大事な文章を取り立てて指導しながら、読み取るようにする。 ・他教科でも、既習漢字を使う習慣を付ける。